

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

別紙

子どもからお年寄りまでが安全で安心して暮らせる都市づくり

ア 多様な暮らしを実現する居住環境の整備

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・ユニバーサルデザイン化改修支援事業 (住宅課)	住宅リフォーム 助成受付件数		事業完了(H25)					85%	C
・3世代同居型住宅への改修 (住宅課)	住宅リフォーム助成事業 のうち多世代同居の 補助数		事業完了(H25)						
・高齢者入居支援 (住宅課)	相談件数		(相談時に適宜対応)						
・市営住宅建替事業 (住宅課)	建替後の戸数		48%	55%	60%	70%	86%		
・子育て世代への公営住宅導入 (住宅課)	今後検討		(H28入居条件の緩和)						

【コメント】

- ・松本市住宅マスタープランに定められた住宅施策のうち、個人住宅の改修助成や市営住宅の建替えなどについては、継続的に実施された。
- ・子育て世代の公営住宅への入居条件について、対象を小学生入学までから中学校卒業までに拡大し、入居資格の緩和を実施した。
- ・超少子高齢型人口減少社会の進展を見据え、若者、子育て、高齢者世代のまちなか居住などについては、各主体(所有者、住宅関連事業者、行政)と連携し、今後も中長期的な施策を実施していく必要がある。
(H29～三世代家族支援事業を実施)

イ 都市部と農村部の交流による中山間地域の活性化

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・中山間地の空き家修繕補助 (住宅課・都市政策課)	今後検討		(空家等対策計画の策定、空き家バンク開設)					72%	C
・松本暮らし定住 (まつもと暮らし応援課)	セミナー参加 組数	120 (組/年)	128%	108%	98%	143%	178%		
・四賀ラインガルテン (農政課)	ラインガルテン 宿泊人数	47,450 (人/年)	99%	100%	99%	122%	122%		
・奈川ラインガルテン (西部農林課)	ラインガルテン 宿泊人数	13,662 (人/年)	73%	69%	71%	74%	69%		
・市民農園利用促進 (農政課・西部農林課)	市民農園数	33園	88%	85%	82%	82%	79%		
・中山間地の人口動向	安曇、奈川、四賀の 人口減少数 (市平均と同等)	65人 (H27 H30)	100%			13%			

【コメント】

- ・都市部と農村部との交流促進を図る施策は継続的に実施された。
- ・空家等対策の推進に関する特別措置法の施行等により、松本市空き家等対策計画の策定、空き家バンク開設・運用を開始した。
- ・一方で、中山間地の人口減少は著しく(H27 H30 全市:99.1%、四賀・安曇・奈川92.9%)、中山間地のコミュニティ維持が課題となっており、さらなる施策の展開が必要な状況である。

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

子どもからお年寄りまでが安全で安心して暮らせる都市づくり

ウ 災害や防犯に強いまちづくりの促進

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・防災広場の整備 (公園緑地課・都市政策課)	防災広場の整備数	3箇所	事業完了(H22)					84%	A
・公園施設の防災機能向上 (公園緑地課)	45公園を整備 (H23~)		事業完了(H25)						
・公園施設の長寿命化 (公園緑地課)	10年以上経過の 都市公園117箇所		事業完了(H25)						
・災害時の避難地機能強化 (公園緑地課)	ソーラー照明灯の設 置数(平田地 区)	6公園	事業完了(H27)						
・ハザードマップの整備 (消防防災課)	ハザードマップ作成 地区数	35地区	事業完了(H26)						
・雨水渠の整備 (建設課)	整備面積	803.5ha	92%	92%	92%	92%	92%		
・耐震診断・改修の促進 (建築指導課)	木造住宅耐震診 断実施件数	1,616 (件/年)	94%	97%	105%	107%	110%		
・管渠施設耐震補強 (下水道課)	マンホール耐震化工事 実施数	人孔78基 可とう化 106箇所	65%	65%	76%	93%	96%		
・狭あい道路拡幅事業 (建築指導課)	所有権移転件数		(市街化区域内の建築行為に伴い実施)						
・橋梁長寿命化事業 (建設課)	橋りょうの補修数	35(H29) 70橋(R5)	37%	40%	60%	74%	44%		
・生活道路整備事業 (建設課)	生活道路の整備 延長	15,826m	19%	19%	21%	39%	42%		
・公園緑地の整備、改修、更新 (公園緑地課)	都市計画区域内 の1人当たり公園 面積	約20㎡	74%	73%	73%	73%	73%		
・公園施設の長寿命化 (公園緑地課)	再整備公園数	74公園 (H35) 157公園 (R11)	39%	64%	84%	100%	100%		
・マンションの修繕等に関する情報提供 (建築指導課)	相談件数		(日常的な相談事務)						

【コメント】

- ・防災広場の整備、耐震化施策、長寿命化修繕計画に基づく再整備など着実に整備が実施された。
- ・また、ハザードマップの作成といったソフト対策の取り組みも進んでおり概ね順調な状況にある。
- ・東日本大震災や、近年発生している局地的な集中豪雨等の自然災害リスクが変化している中で、新しい知見に基づいた施策を行う必要がある。

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

子どもからお年寄りまでが安全で安心して暮らせる都市づくり

エ 歩いて暮らせるまちづくりの促進

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・サインの魅力アップ (都市政策課)	公共サインの多 言語改修数	57基	事業完了(H24)					80%	B
・市民歩こう運動の推進 (健康づくり課)	地区ウォーキングイ ンへの参加人数	9,000 (人/年)	99%	101%	78%	91%	85%		
・快適な歩行環境づくり (都市政策課)	中町の整備延長		事業完了(H29)						
・生活道路の歩車共存 (都市政策課)	整備事業費	268,000 千円	事業完了(H22)						
・自転車利用環境の改善 (交通安全・都市交通課)	自転車レーンの 整備延長	29.9km				37%	38%		
・商店街照明魅力アップ (商工課)	LED化した商店 街団体の数	52団体	89%	90%	92%	94%	94%		
・交通バリアフリー化 (交通安全・都市交通課)	特定経路のバ リアフリー化延長	2.3km(H32) 2.9km(R1)			3%	70%	55%		
・快適な歩行環境づくり (交通安全・都市交通課)	波打ち歩道改修 延長	14.2km	43%	49%	53%	58%	62%		

【コメント】

・これまで実施してきたハード的な対策は概ね順調な状況で推移しており、中心市街地の歩行者交通量も近年は緩やかな増加傾向に転じている。(H22:104千人 H28:119千人)
・歩行者空間の確保、自転車利用環境の整備、公共交通施策との連携など、今後さらに積極的な施策展開が必要となる。

美しい環境を大切にする、持続可能な都市づくり

ア 自然的土地利用と調和した計画的な都市的土地利用の確保

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・第6回定期線引き見直し (都市政策課)	都市計画区域(線 引き)面積	28.555ha	事業完了(H22、H26)					99%	A
・ゾーン30の設定 (交通安全・都市交通課)	ゾーン30設定箇 所	2箇所				100%	150%		
・土地区画整理事業の推進 (都市政策課)	事業進捗率	233.7ha	94%	95%	95%	95%	98%		

【コメント】

・梓川・波田地域における都市計画区域の統合や、波田地区の線引き等、着実に実施された。
・超少子高齢型人口減少社会の進展を見据え、集約型都市構造実現のため、農林業や自然環境との調和を図りながら、今後も計画的な土地利用を図る必要がある。

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。
達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

美しい環境を大切に、持続可能な都市づくり

イ 自然資源の保全活用による個性的な都市環境の創出

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・湧水の活用 (都市政策課)	整備補助件数	20件	事業完了					89%	A
・水と緑を増やす (都市政策課)	湧き水と一体の 緑陰の確保	15箇所				67%	67%		
・河川の整備 (建設課)	改修延長 (2次改修含む)	6,792m	124%	134%	140%	147%	151%		

【コメント】

- ・関係する施策が継続的に実施され、自然資源を活かした都市環境が形成されている。
- ・自然環境資源の保全については、松本市生物多様性地域戦略の行動計画(H28.3策定)に基づく取り組みを継続していく必要がある。

ウ 環境負荷の少ない集約型都市構造の構築

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・街中に若い夫婦への補助検討 (住宅課)	家賃補助戸数	5件	該当事業なし (相談に対する対応のみ)					70%	C
・まちなかの空き家情報の提供 (政策課)	空き家見学会の 開催件数		公営住宅へのご案内 (空き家等対策計画の策定、空き家バンク開 設)						
・空き家修繕費補助の検討 (住宅課)	空き家を修繕し 貸家した件数	10件	(空き家等対策計画の策定、空き家バンク開 設)						
・郊外に家を持つ高齢者にまちなかへ建替 え支援 (住宅課)	今後検討		(立地適正化計画の策定)						
・まちなかに家を持つ高齢者の学生下宿促 進 (住宅課)	今後検討		(立地適正化計画の策定)						
・まちなかにおける高齢者グループハウジ ング支援 (住宅課)	今後検討		(立地適正化計画の策定)						

【コメント】

- ・集約型都市構造の実現のために、松本市立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域と居住誘導区域の設定を行った。
- ・まちなかへの居住誘導は難易度が高く、他部局との連携も必要になる。今後、既存制度の活用や見直しなど具体的な施策への展開が必要である。

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

美しい環境を大切にする、持続可能な都市づくり

エ 景観の保全と形成

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・屋外広告物条例の促進 (都市政策課)	既存不適格広告物の是正件数	2,905基	74%	76%	79%	79%	81%	79%	A
・家屋新築記念樹交付事業 (公園緑地課)	新築記念樹交付件数		(申請に基づき交付 R1:210件)						
・生垣推進事業 (公園緑地課)	生垣補助延長	980 (m/年)	(申請に基づき補助を実施)						
・樹勢相談、緑陰講座の推進 (公園緑地課)	緑陰講座参加人数	150 (人/年)	102%	87%	61%	86%	79%		
・既存屋外広告物条例の推進 (都市政策課)	屋外広告物の許可件数	500 (件/年)	82%	56%	87%	83%	70%		
・違反広告物撤去 (都市政策課)	違反広告物撤去数	減少させる	(広告の日にあわせて一斉点検の実施)						
・景観計画の推進 (都市政策課)	景観計画区域内行為届出数		(届出行為に対する協議にて景観行為を担保)						

【コメント】

- ・松本市景観計画や屋外広告物条例により、適正な景観保全効果が表れている。
- ・市民満足度も高く(H26:2.86点 H30:3.13点)、今後も継続的な取り組みが必要となる。

オ 環境に配慮した総合交通施策の展開

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・松本駅お城口整備事業 (建設課)	整備事業の進捗状況	681,227千円	事業完了(H23)					86%	B
・ノーマイカーデー運動の推進 (交通安全・都市交通課)	ノーマイカーデー運動実施企業数	40事業所	100%	98%	100%	100%	100%		
・エコ通勤の推進 (交通安全・都市交通課)	松本市役所エコ通勤人数		(現段階では普及啓発が主)						
・公共交通についての情報提供 (交通安全・都市交通課)	イベント(バスと電車の交通ひろば)開催		(H26まで開催)						
・新村、平田P&R拡充等 (交通安全・都市交通課)	駐車場整備	188台	事業完了(H26)						
・新村、平田P&R拡充等 (交通安全・都市交通課)	利用台数	100 (台/日)	139%	142%		141%	141%		
・地域の足を住民が確保しようとする主体的な活動支援(交通安全・都市交通課)	補助申請件数	2件	50%	150%	200%	250%	250%		
・人優先の交通まちづくりに対応した交通システム導入の検討(交通安全・都市交通課)	学習会、講演会、説明会等の回数	12 (回/年)	42%	67%	61%	86%	79%		
・西部地域コミュバス、四賀地域公共交通運行事業(交通安全・都市交通課)	コミュニティ乗降者数	2000人増(西部)、現状維持(四賀)	107%	91%	82%	81%	99%		
・既存の公共交通利用を前提とした維持・活性化(交通安全・都市交通課)	地域公共交通協議会の開催数		(必要に応じて開催 年2~4回)						
・タウンズニーカーの利便性向上 (交通安全・都市交通課)	今後検討(商業ビジョンで利用者数を設定)		(市が主体となり増便、ルート見直し等を実						

【コメント】

- ・指標としていたこれまでの施策については、継続的に実施されている。
- ・今後も、松本市次世代交通施策実行計画(松本市総合交通戦略H28.3)に基づく施策を進めていく必要がある。

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

活力のある地域産業を育む都市づくり

ア 自然や豊富な観光資源を結ぶネットワークづくり

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・沢渡駐車場整備 (山岳観光課)	沢渡駐車場台数	38,000 (台/年)	107%	105%	109%	114%	124%	93%	A
・上高地線の利用促進 (交通安全・都市交通課)	上高地線乗客数	137.8 (万人/年)	121%	122%		124%	124%		
・林道の整備(美ヶ原高原) (耕地林務課)	林道改良延長	2,327m (H32)	37%	51%	63%	66%	70%		
・乗鞍岳春山バス運行 (山岳観光課)	春山バス利用人数	6,027 (人/年)	106%	124%	113%	110%	127%		
【コメント】									
・自然観光資源を活かす施策が継続的に実施されており、一定の効果が表れている。									
・上高地、乗鞍、美ヶ原等と拠点部を結ぶ道路・公共交通ネットワークのさらなる充実を図る必要がある。									

イ 歴史文化資源を活かした魅力ある観光のまちの形成

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・地域特性を活かした街なみ形成 (都市政策課)	歩いてみたい城 下町地区の歩行 者数	27,520 (人/年)	154%	170%		162%		71%	B
・城下町まつもとの再生 (松本城管理事務所・城下町整備本部)	事業進捗率	4,368,025 千円	26%	31%	34%	39%	42%		
【コメント】									
・松本城周辺は、国内外の観光客に対して魅力をもった観光資源であることから、入込客数も堅調に推移している。									
・三の丸地区においては、そのポテンシャルを十分に発揮するために、三の丸地区整備基本方針(H27.3)に基づいた内環状北線や基幹博物館等の整備を着実に進める必要がある。									

ウ 有良農地の保全と環境整備の促進

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・農業振興地域整備計画の推進 (農政課)	計画変更に関する 相談件数		(申出に対して対応)					70%	B
・遊休荒廃農地対策の推進 (農政課・西部農林課)	有休農地の再生 利用に対する相 談件数		(土地所有者との合意に基づき対応)						
【コメント】									
・梓川・波田地域における都市計画区域の統合や、波田地区の線引き等により一定の成果が見られた。									
・農政部局と連動して、市街化調整区域の土地利用整序をより進めていく必要がある。									
・農業事業者の高齢化等に伴う減少や後継者不足が進んでいることから(農家数H22:7,984戸 H27:7,156戸、60歳以上割合 H22:72.8% H27:77.2%)、担い手育成や支援のための施策を継続・強化していく必要がある。									

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

活力のある地域産業を育む都市づくり

エ 森林資源の計画的な保全と活用

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・森林の整備 (耕地林務課・西部農林課)	森林整備面積	3,850ha	56%	59%	61%	66%	67%	54%	C
・市有林造成事業に伴う木材搬出 (耕地林務課・西部農林課)	木材の搬出量	15,000 (m3)	38%	40%	46%	58%	60%		
・地場産木材を活用した住宅への補助 (住宅課・耕地林務課)	カラ松材住宅補助金支給戸数	60件	—	—	—	12%	27%		
・地場産木材を活用した優良住宅表彰 (住宅課)	今後検討		(今後検討)						
【コメント】									
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化に伴う森林整備を行う事業者や労働者の不足のため、目標指標には達していないが、継続的な取り組みがされている。 ・担い手育成や支援の施策をより進めていく必要がある。 									

オ 産業基盤の整備

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・新工業団地の建設 (健康産業・企業立地課)	分譲面積	14.3ha	41%	64%	80%	93%	100%	100%	B
【コメント】									
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月に団地内の分譲が完了し、建設目的を達成した。 ・都市活力につながる地域産業活性化の取り組みとして、新たな産業集積に向けた方針をとりまとめる必要がある。 									

カ 中心市街地の活性化

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・空き店舗活用事業 (商工課)	空き店舗活用事業補助件数	45件 (H29)	84%	93%	104%	131%	142%	97%	B
・創業者支援事業 (商工課)	家賃等補助件数	540件 (H32)	64%	74%	82%	87%	94%		
【コメント】									
<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗や創業者への家賃補助等の施策は着実に実施されている。 ・中心市街地においては、大型商業施設の出店、経営者の高齢化や後継者不足、増加する外国人観光客への対応等、課題が多岐にわたっており、松本市商業ビジョン重点施策の取り組みが必要である。 									

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

活力のある地域産業を育む都市づくり

キ 地域産業の発展を支える交通網の整備

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・内環状南線の改良 (建設総務課)	事業費ベース進 捗率		75%	81%	87%	89%	99%	60%	B
・出川双葉線の改良 (建設総務課)	事業費ベース進 捗率		24%	24%	25%	25%	26%		
・三才山トンネルの通行料金見直し (建設総務課)	1日当たりの利用 台数		(料金体系の改善により利用者負担減を図る)						
・信州まつもとと空港の利活用 (観光温泉課)	空港の利用率	70%	88%	92%	100%	99%	103%		
・国道19号拡幅 (建設総務課)	用地買収面積	100% (H37)	26%	32%		35%			
・中部縦貫道の整備 (建設総務課)	事業費ベース進 捗率	100% (H32)	12%	12%	12%	12%			
・道路整備五箇年計画策定 (建設課)	道路整備延長	120.8km (H29) 125.1km(R4)	76%	76%	76%	76%	76%		
・大都市圏等から松本までの鉄道時間短縮 (政策課)			(既成同盟会としての取り組み(JRへの要望等))						
【コメント】 ・高規格道路や幹線道路の整備は徐々にではあるが、進められており、継続的に推進していくことが重要である。									

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。

都市計画マスタープランの実施状況について (基本方針の評価指標となる各施策の取組み結果)

市民・地域の連携・協働による都市づくり

ア まちづくり計画への住民参加の推進

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・景観シンポジウム開催等 (都市政策課)	景観賞応募件数		(景観の質の向上を目的として実施)					70%	B
・道路整備五箇年計画概要説明 (建設課)	地元説明会の開催	4 (回/年)				100%			
・都市計画に関する出前講座の実施 (都市政策課)	出前講座実施件数	4 (回/年)	0%	0%	50%	0%	0%		
・市街化調整区域における規制緩和 (都市政策課)	市街化調整地区の地区計画運用指針を策定		策定完了(H22)						
【コメント】 ・景観賞の開催、住民説明会や出前講座の実施など市民が参加できる施策に取り組んだ。 ・広報手段が多様化しているため、わかりやすく有効な広報手段で住民参加を促す必要がある。									

イ 市民主体によるまちづくりの支援

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・オープンガーデンマップ事業 (公園緑地課)	オープンガーデン見学会参加者数		(参加希望者に対して開催)					63%	B
・公民館活動を通じた啓発活動 (生涯学習課)	学習会の開催		(学習会を継続して実施 5回/年～14回/年)						
・地区別地域づくり計画の策定支援 (地域づくり課)	地域づくり計画を策定した地区数	35地区				9%	11%		
・住民主体の地域づくりを進める支援体制の整備 (地域づくり課)	地域づくりセンターの設置		設置完了(H26)						
【コメント】 ・市民主体のまちづくりを推進するために、各種事業を実施したほか、複雑化する地域課題を解決するために市内35地区に地域づくりセンターを設置し、市民主体のまちづくりを推進していく体制を整えた。 ・具体的な組織体制に加え、多様な主体の協働による地域課題解決に向けた施策に継続して取り組んでいく必要がある。									

ウ 周辺自治体との広域連携によるまちづくりの推進

代表的な施策(事業)	指標		目標指標に対する進捗割合					総合 進捗割合	参考 H26評価
	指標項目	目標値	H27	H28	H29	H30	R1		
・周辺自治体と広域的に整合がとれた土地利用の促進 (都市政策課)	県・周辺市町村との調整会議開催	1回 (回/年)	100%	100%	100%			70%	B
【コメント】 ・県や周辺自治体と連携し、実質的な一体の都市としての現状や課題を共有するために調整会議を開催した。 ・さらなる広域連携のために周辺市町村との継続的な調整が必要となる。									

各施策において、定量的な目標値が設定されていない場合は、H26の内部評価値(A:80%,B:70%,C:60%)を参考に進捗割合を設定している。達成率が100%を超えている施策は、100%として割合を算出している。